

ウクライナ支援 取り組み

私たちにいまできること



▲ひまわり募金活動



▲大村秀章愛知県知事から感謝状



▲川口リュドミラ理事長の特別講義



▲ダツェンコ イーホール理事の特別講演



▲ウクライナ料理教室

ウクライナで始まりウクライナで終わりのような本年、本学園は、ウクライナからの避難を余儀なくされ、愛知県内で避難生活を送られている方々を支援するために「ひまわりプロジェクト」を立ち上げ、さまざまな支援活動に取り組んでいます。2022年度の主な取り組みとして、7月7日、7月12日及び7月13日に名鉄瀬戸線主要6駅で「ひまわり募金活動」を行い、7月14日に集まったお金をウクライナ避難民支援のための寄附金として愛知県に贈呈し、大村

秀章愛知県知事から感謝状をいただきました。また、ウクライナ情勢や知られざる歴史や文化を学ぶため、7月12日及び7月19日に日本ウクライナ文化協会の川口リュドミラ理事長と避難民の方を招き、名古屋産業大学及び名古屋経営短期大学の在学生を対象とした特別講義を開催しました。さらには9月10日に同協会理事のダ

ツェンコイーホル氏と避難民の方を招き、本学園教職員を対象とした「特別講演会」を開催しました。そして、ウクライナの食文化や料理を学ぶため、9月10日の特別講演会後の教職員対象の学園研修、10月20日の菊華高等学校普通科フードクリエイティブコースの正課授業の中で、川口理事長による「ウクライナ料理教室」が行われました。川口理

事長や避難民の方から料理方法を教わりながら、ウクライナの代表料理である「ボルシチ」などを作りました。今回、ウクライナの文化や食文化・食習慣について講話をいただき、ウクライナの知られざる歴史や文化を学ぶことができ、これからも支援を続けていきたいと思います。



ウクライナ紛争と未だに収束の見え立たない新型コロナウイルスの影響で、社会、経済が大きく揺れ動いているなか、本学園で学ぶ学生、生徒、園児の皆さんは、先生方から愛情を注がれ、元気で頑張ってくださっていると信じています。保護者の皆様には、これまでと変わらぬご支援に心よりの感謝申し上げます。

また、教職員の皆様の日頃の愛情教育や職業教育への熱心な取り組みを大変心強く思っています。さて、新型コロナウイルスの蔓延が始まった当初は、学生生徒はもとより教職員も遠隔授業に戸惑ったこともありました。今は体制も整い、またコロナの波が押し寄せて遠隔授業をしなければならぬ状況になっ

ても、学生・生徒や保護者の皆様にご心配をお掛けすることなく、教育環境は整っておりますのでご安心ください。昨年（令和3年度）、大学に経営専門職学科を開設し、予測不可能な時代を生きる人材像として、「時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持ち、社会を改善していく資質を有する人材」が必要とされています。こうした人材を育成するための教育の目指すべき姿は大きく変わってきています。これまでのように教員が教える内容を教えるのではなく、「何を学ぶ、何を身につけることが出来たのか」を明確化した教

育が求められるようになってきました。学生・生徒・園児一人ひとりに合った学びを一緒になって教えていく育成型教育を今後も展開していきたいと考えています。少子化や人口減など教育を取り囲む環境は、ますます厳しくなるでしょう。教職員一人ひとりに覚悟がないと後れを取ってしまいます。全員一丸となって前進し続け、変化し続けて、愛情を注ぎ続けていきたいと思います。



学校法人菊武学園 理事長 高木 弘恵

菊華高等学校

あの震災から10年、コロナ対策で繋げた再会

東北ボランティア

8月10日から14日までの4泊5日の日程で、菊華高等学校保育・福祉コースの生徒11名、引率教員2名の13名は、同学園内の菊武ビジネス専門学校に宿泊し、引率教員3名の15名とともに、運動手1名を含む計29名で3年ぶりの東北ボランティア活動に旅立ちました。私たちは、「TSUBASA」というチーム名を掲げました。「繋ぐ、万感、咲か

せる」の頭文字から生まれたチーム名です。東北では、3年ぶりの景色を見ましたが、大きく復興した部分と、被災した状況がしっかりと伝わるよう保存されているものと



▲東北ボランティア活動への旅立ち



▲チーム「TSUBASA」のTシャツ



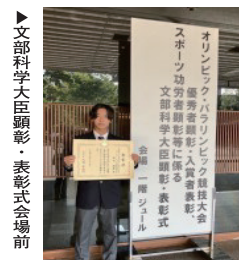
▲現地の人々との交流

クトも行い、たくさんの笑顔に触れる機会もありました。帰路のフェリーでは、台風の影響で波も高く、自然の脅威をとても感じる場面がありました。今回の経験を今後の学校生活にいかして、思いやりの心、繋がるの大切さ、ご縁の深さを意識していきます。

文部科学大臣顕彰受賞！

菊華高校 スポーツコース3年 中川海秀

2021年3月にロシアで開催された「FIS スノーボードジュニア世界選手権男子ハーフパイプ」で優勝したことが評価され、スポーツコース3年の中川海秀さんが、文部科学大臣顕彰を受賞しました。中川さんは、ご両親が選手として競技をしていたことに影響を受けたことがきっかけで、スノーボードを始め、時に挫折しそうになったり、心が折れそうになったりした時も、耐えて今まで頑張ってきました。今回の受賞について「自分以外に受賞した選手のなか



▲文部科学大臣顕彰・表彰式会場前

このオリンピック出場という大きな目標を達成するために、中川さんは「今までの努力を続けること」とももちろんですが、何よりも「人間力」を大切にしていきます。なぜかという「人間力」と「競技力」は、比例すると考えているからです。自分のことを支えてもらっている人々の方々に感謝の気持ちを忘れず、常に謙虚に、そして正々堂々、スポーツマンらしく、たくさんの人から応援される選手になりたいです」と語りました。

全国高校総体ボクシング競技大会 準優勝

菊華高校スポーツコース3年 横井貫大

7月27日から8月2日まで、四国・高知県で行われた全国高校総体で、スポーツコース3年の横井貫大さんが、全国準優勝となりました。今年は、一回戦から準決勝までは

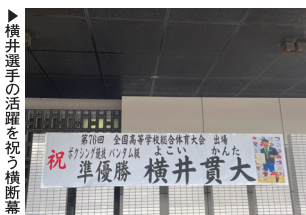
距離をとるスタイルで相手を完封し、決勝では相手が一枚上手で、残念ながら敗れました。しかし、全国準優勝という結果が残せたのも、家族、学校の先生方の声かけや応援、サポ

ートがあったからです。今後も周りの人から、応援されるように日常生活も学校生活も努力していきます。

横井さんは「今回、インターハイ2位という結果を残せたのは、顧問の高岡元氣先生やボクシング部全員が応援・サポート



▲全国高校総体で準優勝した横井選手



▲横井選手の活躍を祝う横断幕

菊武ビジネス専門学校

南知多グリーンバレイでサマースクール開催

3年ぶりに夏休みの行事、サマースクールが8月2日に行われました。高等課程の生徒40名が教

員8名と学年の枠を超えて思い出作りをしました。今年は制限された中で、日帰りの実施となりました。愛知県知多郡南知多町の内海海岸で地曳網体験、南知多グリーンバレイでバーベキューやアスレチック体験をしました。当日は天候にも恵まれ、熱中症に気を付けながら野外活動を行いました。



▲地曳網体験



▲バーベキュー体験



▲アスレチック体験

んの魚が入り、生きた魚を手にとり、普段はできない楽しい体験ができました。また、火起こしに苦労しながらのバーベキューでは、焼き肉や協力し合って作った焼きそばはあつという間に鉄板からなくなりました。アスレチックでは池に落ちてしまった生徒もいましたが、笑顔で怪我無くゴールすることができました。

この夏に、学年を超えて友人となった仲間とともに協力し合えたことをクラス、学年、学校全体の活動に積極的に活かしてほしいと思います。

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

たくさんの模擬結婚式を経て いざ本物の結婚式をプロデュース



▶昨年の本物の結婚式の様子

式をプロデュースしてほしい」と希望する新郎新婦を公募し、毎年開催しています。学生らは、1年次より模擬結婚式で培ってきた経験と技術、接客力を武器に9月から打ち合わせをスタートしました。ウェディングプランナーコースのメインプランナーを筆頭に、衣裳やヘアメイクを担当するドレス・ヘアメイクコース、ブーケや会場装花を担当するフラワービジネス科の力を結集し、これまでの模擬とは違う緊張感、絶対に失敗できないという責任感をもった取り組みを行っています。



▶いよいよ始まった打合せ

生が、12月11日と1月22日に「ビアンカーラヒルサイドテラス」で行われる本物の結婚式を担当することになりました。本物の結婚式は開校以来続く伝統で、「ぜひNWF Bの学生に自分たちの結婚

式をプロデュースしてほしい」と希望する新郎新婦を公募し、毎年開催しています。学生らは、1年次より模擬結婚式で培ってきた経験と技術、接客力を武器に9月から打ち合わせをスタートしました。ウェディングプランナーコースのメインプランナーを筆頭に、衣裳やヘアメイクを担当するドレス・ヘアメイクコース、ブーケや会場装花を担当するフラワービジネス科の力を結集し、これまでの模擬とは違う緊張感、絶対に失敗できないという責任感をもった取り組みを行っています。



▶新婦のドレス選びをお手伝い

フラワーショップ beARA「ベアラ」

期間限定オープン!!

フラワービジネス科2年生が営業するフラワーショップが、10月19日から12月19日までの期間限定でオープンしました。

毎年この時期だけのNWF Bの風物詩となっています。ショップ名決定から店舗コーディネート、毎週の仕入れ、接客も全て学生が行っています。在校生だけでなく、一般のお客様も大歓迎!いつもの暮らしにお花を取り入れてみませんか?



▲色とりどりの花が並ぶ店内

flower shop beARA
場所：NWF B
1階ショップスペース
営業日：毎週月・水曜日
営業時間：9:30～17:30

稲葉保育園

ちびっこ華道家

稲葉保育園では、感性豊かな心を育てたいとの思いから、毎月お花の先生この「お花あそび」を年長児が楽しんでいきます。この活動を通して、季節の花の名前を知ったり、花の色や香り・手触り等を感じています。花器にクラスの花たちと一緒に花入れをし、一つの作品を作り上げる喜びや楽しさをクラスの友だちと共有しています。作品は「稲葉美術館」に展示しています。



▶ブルがお花畑



▶どい入れを素敵な



▶みんなてつ作品

菊武幼稚園

オリジナル衣装を着て 市民パレードに参加



▲元気いっぱい踊る子どもたち

コロナ禍で2年続けて中止だった「春日井まつり」が10月16日に開催され、3年ぶりの市民パレード

に年長児が幼稚園で作成したオリジナル衣装を着て参加しました。県道を通行止めにした広い舞台で「レディヤンかすがい」から「春日井市役所地下駐車場」まで1キロほどの行程を10月とは思えない夏日の気温のなか、30分以上踊り続けました。汗だくでしたが道からの声援を受け、元気いっぱいのパレードでした。

学校法人菊武学園財務諸表 令和3年度 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,947,609
手数料収入	30,511
寄付金収入	15,340
補助金収入	779,023
資産売却収入	212,398
付随事業・収益事業収入	42,940
受取利息・配当金収入	9,848
雑収入	45,042
前受金収入	443,506
その他の収入	141,528
資金収支調整勘定	△ 552,632
前年度繰越支払資金	1,623,230
収入の部合計	4,738,343
人件費支出	1,642,096
教育研究経費支出	511,021
管理経費支出	216,809
施設関係支出	105,243
設備関係支出	76,903
資産運用支出	352,939
その他の支出	82,827
資金支出調整勘定	△ 69,287
翌年度繰越支払資金	1,819,792
支出の部合計	4,738,343

活動区分資金収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,947,609
手数料収入	30,511
寄付金収入	15,340
経常費等補助金収入	764,548
付随事業収入	42,940
雑収入	44,891
教育活動資金収入計	2,845,839
人件費支出	1,642,096
教育研究経費支出	570,921
管理経費支出	155,540
教育活動資金支出計	2,368,557
調整勘定等	△ 59,621
教育活動資金収支差額	417,661
施設整備等活動資金収入計	67,475
施設整備等活動資金支出計	232,146
調整勘定等	7,123
施設整備等活動資金収支差額	△ 157,548
その他の活動資金収入計	250,033
その他の活動資金支出計	313,584
その他の活動資金収支差額	△ 63,551
支払資金の増減額	196,562
前年度繰越支払資金	1,623,230
翌年度繰越支払資金	1,819,792

事業活動収支計算書

科 目	金 額
学生生徒等納付金	1,947,609
手数料	30,548
寄付金	17,417
経常費等補助金	764,548
付随事業収入	42,940
雑収入	44,937
教育活動収入計	2,847,999
人件費	1,631,315
教育研究経費	782,662
管理経費	241,130
徴収不能額等	549
教育活動支出計	2,655,656
教育活動収支差額	192,343
教育活動外収入計	9,848
経常収支差額	202,191
特別収入計	18,725
特別支出計	14,865
特別収支差額	3,860
基本金組入前当年度収支差額	206,051
基本金組入額合計	△ 32,871
当年度収支差額	173,180
前年度繰越収支差額	△ 5,207,513
翌年度繰越収支差額	△ 5,034,333

貸借対照表

科 目	金 額
固定資産	12,187,538
有形固定資産	10,185,529
特定資産	1,979,940
その他の固定資産	22,069
流動資産	2,003,692
現金預金	1,819,793
未収入金	80,728
その他	103,171
資産の部合計	14,191,230
固定負債	386,756
長期未払金	42,418
退職給付引当金	344,338
流動負債	686,514
未払金	※ 1 41,631
その他	644,883
負債の部合計	1,073,270
純資産の部	
基本金	18,152,293
第1号基本金	17,861,293
第2号基本金	97,000
第4号基本金	194,000
繰越収支差額	△ 5,034,333
翌年度繰越収支差額	△ 5,034,333
純資産の部合計	13,117,960
負債及び純資産の部合計	14,191,230

単位 千円

※ 1 の未払金には期末退職者退職金が 21,098千円含まれています。

※ 減価償却額の累計額の合計額 7,958,449千円

3年ぶり大学祭 多くの来場者でにぎわう 実行委員会の自由な発想で合同大学祭を彩る

「バレット」New color」をテーマに、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の合同大学祭が10月8日、9日の2日間



▲尾張旭市の伝統芸能「馬の塔」



▲お笑いライブ

開催されました。さまざまな模擬店が並び、学生や多くの地域住民らが参加し、キャンパスは活気に包まれました。体育館では、テレビで活躍中の「アイデンティ



▲多くの来場者でにぎわう

ティ&ゴージャス」のお笑いライブや女性アイドルグループ「EAK」のスペシャルライブが行われ、学生や市民で大賑わいでした。学生が運営するイベントコーナーにはフェ

イスパイント、ドローンで遊ぶ、七宝焼き、チュロス、ベビーカーステア、定番の唐揚げ、セルフフォト写真館など、バラエティに富んだ内容になりました。共同開催の尾張旭市民祭との合同企画のクイズラリーや、小学生金管バンドパレード、棒の手・馬の塔披露などの地域行事も大学祭に、華を添えてくれました。大学祭を成功させようと、実行委員会の学生たちは、連日夜遅くまで準備を進め、熱意と団結力を発揮しました。

「2022年プロ野球ドラフト会議」で、永田颯太郎さんが楽天から育成4位で指名されました。永田さんは2019年3月に菊華高等学校を卒業後、名古屋産業大学に進学と同時に国立台湾体育運動大学（台湾台中市）へ留学して、野球の技術を磨いたという異色の経歴を持つ遊撃手。永田さんが一時帰国していた今年7月に、山田潤担当スカウトが菊華高等学校

東北楽天ゴールデンイーグルス育成4位指名 永田 颯太郎

校での練習を視察したのが今回の指名のきっかけとなりました。11月1日、国立台湾体育運動大学で山田担当スカウトから指名のあいさつを受け、11月19日に名古屋市内で無事に球団と契約を結びました。山田担当スカウトは「近い将来レギュラー争いに加わり、シートのレギュラーを掴んでほしいと思う」と期待を口にされていました。



▲山田潤担当スカウトから指名のあいさつ



▲国立台湾体育運動大学でのお祝い写真（左から3人目）

輝け、未来の専門職！ ～未来へのビジネスデザインコンテスト～

名古屋産業大学では、経営専門職学科の取組として、将来を担う若年層の高校生に対して、日ごろの成果を披露する機会や、自分自身の将来の夢を語る場を提供しようと、第2回「輝け、未来の専門職！未来へのビジネスデザインコンテスト」を8月7日に開催しました。



▲ビジネスデザインコンテスト受賞者ら

女子選手権大会「選手権者決定戦」で優勝 ボウリング部 岩元美咲希

名古屋産業大学ボウリング部の現代ビジネス学科2年生・岩元美咲希さんが、6月に開催された第58回東日本ボウリング選手権大会「女子選手権者決定戦」で優勝しました。昨年6月の第33回オールジャパンレディースボウリングトーナメントで優勝に続く素晴らしい結果を残しました。また、同大会は男女それぞれ4人チーム戦（6ゲーム×4人）、2人チーム戦（6ゲーム×2人）の2部門があり、以下のとおり本学の選手が大活躍しました。



▲今大会で優勝した岩元選手

- 【入賞者】
- ◆女子選手権者決定戦 優勝 岩元美咲希
 - ◆女子4人チーム戦 準優勝 学生連合（岩元美咲希、米山侑花、他2名）
 - ◆女子2人チーム戦 準優勝 学生連合B（岩元美咲希、米山侑花）
 - ◆男子4人チーム戦 第5位 学生連合A（大藪信太郎1年、他大3名）

短大同窓会を開催 147名の笑顔咲く 石井亮次アナウンサーのトークに盛り上がる

9月17日に名古屋経営短期大学（旧・名古屋女子商科短期大学）の同窓会が本学文化センター大ホールで開催され、昭和43年に入学された方から令和4年に卒業された方まで総勢147名の参加が集まりました。

総会に引き続き開催された講演会では、元CBCアナウンサーで現在ゴゴスマを中心に活躍の石井亮次さんをゲストに高木弘恵学長と未来キャ



▲乾杯の音頭をとる高木清秀常務理事

リヤ学科2年樋川千尋さんの対談が行われ、石井さんの「仕事感」や「学生時代」についての楽しいトークで会場は大いに盛り上がりました。その後、学生食堂に会場を移し、元短大学長で現・常務理事の高木清秀先生に乾杯の音頭をいただき、立食形式の交流会が実施されました。